

新松田駅周辺整備基本構想・基本計画(案) パブリックコメント
意見内容及び回答・対応

No.	項目	意見形態	該当ページ	意見内容	回答・対応
1	■基本方針	文書	-	災害部分にも配慮した整備も含めることが大切かと思う。	今後の検討において、防災面にも配慮した計画とします。
2	■基本方針	文書	-	現況と課題、まちづくりの基本方針については、その施策の方向性・考え方など特に問題となる点はなく、今後その実現化に向けた取組みが展開・議論されることを期待する。	本計画のとおり早期実現を目指し、検討を進めたいと考えております。
3	■基本方針	文書	-	安全安心なまちの形成を基本とするのなら徹底的に道路・踏切等の安全化を行うべきである。	道路の安全対策等については、今後詳細な検討を行います。
4	■基本方針	意見交換会 第1回	-	駅周辺のまちづくりを考える際に防災ということを念頭に置いて検討してほしい。	今後の検討において、防災面にも配慮した計画とします。
5	■基本方針	文書	P.12	まちづくりの基本方針と実現施策(P18)に示される項目の大半は理解できるし、およそそのとおりであると思いますが、それがイメージ図(P42)に直結することが理解できません。そうなった要因はP12で予め課題を絞り込んだことによるのではないのでしょうか。建設事業ではなく、ソフト施策こそ重要であると考えます。	本計画については、駅周辺整備についての基本構想・基本計画であるため、ハード面の整備が主体の計画となっておりますが、基本構想において「地域資源を活かしたまちづくり」などソフト施策の取り組みについても記載しております。
6	■景観	文書	-	環境・景観に配慮を基本方針とするなら道路・建物・景観(富士山、相模湾、足柄平野、松田山等)を考慮した環境づくりを行うべきと考える。	富士山の眺望など豊かな自然環境、景観など地域資源を活かしたまちづくりに配慮した計画とします。
7	■景観	文書	-	富士山の眺望、箱根の山並み、豊かな自然環境などは大変大事な利点、魅力で、このことを優先に前提として計画してほしい。 足柄平野、その中の松田町、さらにその一部の駅周辺もこの点を活かしてほしい。	

No.	項目	意見形態	該当ページ	意見内容	回答・対応
8	■景観	メール	P.40	ロマンス通りからは富士山が正面に見えて、とても好きな通りだが、電柱、電線が張り巡らされ見栄えの悪い景観となっている。 ロマンス通りが整備される際に、電柱の埋設もぜひお願いしたい。	電線地中化事業については、新松田駅周辺整備の主要事業として追記しました。
9	■景観	メール	P.26	松田駅と新松田駅が2階で繋がるなら、そこからロマンス通り沿いに富士山が正面に見え、その景観が観光名所的にできると良いと思う。	富士山の眺望など豊かな自然環境、景観など地域資源を活かしたまちづくりに配慮した計画とします。
10	■基本構想	文書	P.3	インターネットが盛んな今、「情報発信のシステム新設」は無駄だと思う。	デジタルサインなど、駅周辺の来訪を促す情報発信機能の充実を図ることが必要と考えています。
11	■基本計画	文書	-	駅前再開発と南北・駅前広場は、積極的に推進して早期に完成してほしい。	本計画のとおり早期実現を目指し、検討を進めたいと考えております。
12	■基本計画	文書	-	基本計画対象範囲は、JR御殿場線で長距離(矢倉沢踏切からJRガード)にわたって南北に分断しているため、南北地区を回遊できる「JR松田駅南北連絡道路」は、積極的に推進して早期に完成してほしい。	
13	■基本計画	意見交換会 第3回	P.42	イメージ図のとおりでなく、駅前広場や駅ビルなど小規模な整備についても検討するべきではないか。	今後行う勉強会などで施設の規模等についても詳細に検討します。
14	■基本計画	文書	P.20	基本構想に基づく各種整備計画、計画図(案)、イメージ図などの内容を見ると現在の状況を大幅に変える計画であり既存の権利者(町民)に大きな影響を与えることが想定されるため、周辺の権利関係者・地元の協力が不可欠、行政との連携も必要である。 今後事業を具体化・進展するためには関係者との十分な協議と理解を得るとともに、行政側の支援や協力も必要であると考え。整備スケジュールなどもその検討状況や意向など反映しながら適宜修正・見直しを行うなど慎重な対応が求められると思う。	ご意見のとおり、この事業の実現化には、周辺の権利関係者などの事業協力は必要不可欠であります。そのため、スケジュールにも記載のとおり、今後勉強会や検討会を実施して、事業に関する理解を深めていくよう取り組みます。

No.	項目	意見形態	該当ページ	意見内容	回答・対応
15	■基本計画	文書	P.43	駅南北立体横断施設は新松田駅を橋上駅舎とし、併せて自由通路とする。新松田駅周辺整備には民間資本を投入し、周辺を高層化し低層階に近隣の商店等を集約。高層階は分譲マンションとし、保留床の売却により事業費を捻出する。これによって駅前広場の確保、駐車場整備、道路の拡幅などの財政負担が軽減される。	ご意見のとおり、新松田駅の橋上化、南北自由通路の整備が本計画に入っております。また、集約施設については、組合施行として民間資本を投入する手法を基本に詳細に検討していきます。
16	■基本計画	文書	—	駅前の改善は町の発展のためには必須のことと考え、基本的には賛成です。むしろ遅すぎたぐらいです。すでにロマンス通りは店舗がどんどん閉店しています。	早期実現を目指し、検討を進めたいと考えております。
17	■予算	文書	P.27、P.30	基本構想・基本計画案に対して、予算関係は大丈夫なんでしょうか。この計画でどの程度予算が必要なのか公表すべきである。また、予算をどのように工面するのか。現段階では絵に描いた餅に終わる可能性が高いと思います。	駅前広場及び集約施設の想定される事業費は、本計画に記載しております。なお、この事業については現在策定中の町の総合計画で重点プロジェクトに位置づけるとともに、国や県の補助を積極的に活用し、計画的に取り組みます。
18	■予算	意見交換会第1回	—	この事業の予算はどのくらいを見込んでいるのか。町主体の事業となるのか。この再開発事業について地権者としてのメリットはあるのか。	駅前広場及び集約施設の想定される事業費は、本計画に記載しております。また、市街地再開発事業(駅ビル)は組合施行となりますので、地権者の方々につきまして、資産価値は変わりません。
19	■予算	意見交換会第1回	—	新松田駅南口の整備に要した費用はどのくらいか。また今後どの程度の予算が必要か。	今まで要した費用が約7億円であり、今後約5億円を要するため、南口整備の事業全体として約12億円となります。
20	■予算	意見交換会第2回	—	松田町の人口減少や高齢化が進む中で事業を進めることになるが、町営住宅の建替え等を行っており、今後は小学校の建設も計画されている。この駅周辺整備の財源はどのように考えているのか。	駅前広場整備費のうち、55%を国の補助、残りの45%のうち、90%が起債の充当となります。
21	■予算	意見交換会第2回	P.27	事業費を記載するのであれば、国の補助がどれくらい、町の負担がどのくらいなどわかるよう、財源を記載した方がわかりやすい。	財源の記載について該当するページを修正しました。

No.	項目	意見形態	該当ページ	意見内容	回答・対応
22	■予算	意見交換会 第2回	P.27	約12億円と記載されている費用には、集約施設等の費用は含まれていないと考えていいか。	駅前広場の整備費であり、集約施設等の費用は含まれておりません。なお、駅前広場等の事業費は約14億円で修正しました。
23	■予算	意見交換会 第3回	P.27・P.30	全体事業費が130億円と聞いているが、それだけ必要なのか。 新松田駅の南北自由通路、JRの南北連絡通路や駅周辺町道の整備費は含まれているのか。	今後、集約施設の規模等により事業費は変動しますが、この事業費には新松田駅南北自由通路、JRの南北連絡通路、駅周辺町道の整備費用は含まれておりません。
24	■予算	意見交換会 第3回	—	この事業を実施することで町民にとってどのぐらい負担が増えるかがわからない。	駅前広場及び集約施設の想定される事業費は、本計画に記載しております。 なお、市街地再開発事業の仕組みについて追加しました。
25	■予算	意見交換会 第3回	—	今回の計画について駅周辺の安全性を保つのは理解できるが、人口が減少していく中で、この事業により各年代の人口や世帯がどのぐらい増えるかわからない中で、予算がどの程度必要となり、財政的な負担がどうなるか等わかりやすく数字で示してほしい。	
26	■事業 スケジュール	意見交換会 第2回	P.45	スケジュールに記載されている重点事業を統合して実施するのはどこになるのか。	都市計画決定の手続き、駅前広場の整備及び集約施設の初期の勉強会は町が進めることとなります。鉄道関連施設は町と鉄道事業者が協議しながら進め、集約施設については準備組合設立以降は、一般的には再開発ビルの建設業者(デベロッパー)などが事業に関するコーディネーターとなり、事業の具体的な手法などを検討することとなります。
27	■事業 スケジュール	意見交換会 第3回	P.45	整備スケジュールは確定なのか。	整備スケジュールは現時点における予定です。
28	■道路整備	文書	P.25	北口の交通分散で小田原方面行きのバス停を南口に移設ということですが、南口の自動車動線でバスの出入りが県道711号線で仕方ないが、一般車両については駅前広場の混雑を想定して県道711号線から町道5号線への一方通行を検討する必要があると思う。	一方通行の規制を実施するには、交通管理者との協議や地域の方々のご理解が必要となりますので、今後の検討事項となります。

No.	項目	意見形態	該当ページ	意見内容	回答・対応
29	■道路整備	文書	—	町道5号線の延伸については、町道2号線や町道4号線を経由することになりますが、2路線とも幅員が狭いので交通量の増大により事故など周辺住民への影響が懸念される。 因って酒匂川縦貫道路(県事業)の早期実現と川音川架橋～宮下公園付近～小田急線架橋～松田郵便局付近の県道712号線までの更なる延伸完成によって、町道4号線を整備接続させ、川音川水位観測所～仲町屋地域集会施設前～石田製材所付近～駅南口のアクセス道路を拡幅整備することにより、バス、一般車両の通行がいっそ可能となり、松田町の基幹道路が整備される。	本計画の策定にあたりましては、県とも協議を行っておりますが、ご意見の酒匂川縦貫道路についてはこの計画の道路整備計画には含めておりません。
30	■道路整備	文書	P.22・P.25	P25の自動車動線とP22の道路計画が不整合である。町道3号は歩行者優先道路が適切と思います。	25ページ記載の自動車動線はバス等公共交通機関の主動線のみを示していたので、一般車両の動線と区分して表示するよう修正します。
31	■道路整備	文書	—	この計画の中で松田山への道路整備(観光として)も行ってはどうか。	本計画の対象範囲外となるため、ご意見の内容については検討しておりません。
32	■道路整備(県道)	文書	P.20～21	県道711号線は、駅前広場へ公共交通がアクセスする骨格道路であるため、積極的に拡幅して早期に完成してほしい。	
33	■道路整備(県道)	意見交換会第1回	P.22	一番危険な箇所であるガード下を改善しないと抜本的な改善にならない。	JR御殿場線のガード部の拡幅整備については、今後県と協力して検討を進めるとしております。
34	■道路整備(県道)	意見交換会第1回	P.22	御殿場線のガード部は拡幅ができるのか。	
35	■道路整備(県道)	意見交換会第2回	P.45	整備スケジュールにおいて4年間で県道711号、駅前広場の都市計画決定を予定しているが、この短期間で都市計画決定することが可能か。	県道711号の御殿場線のガードから南側については、大井町内や一部未整備の箇所があるため、駅の整備と連携して都市計画決定をしていくことで県と調整しています。

No.	項目	意見形態	該当ページ	意見内容	回答・対応
36	■道路整備 (町道)	文書	P.21	沿道商業地区に位置づけられている町道3号・6号線は、道路を拡幅すると、多くの店舗や住宅を解体する必要があり、商店主を含む住民には過大な負担、町では大きな補償金の負担が生じてしまう。人口減少社会の中での過大な負担は、多くの商店主の活性化意欲を冷や込ませて、廃業に追い込んでしまうため、「拡幅を検討するのではなく、歩行者の安全性確保のために、道路の一部を歩道にするなど、道路横断面の見直しを検討する」と加筆修正してほしい。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正しました。(P.21) 「周辺のアクセス道路の道路交通の円滑化や歩行者の安全を確保するため、道路の拡幅や現況幅員内での整備についても検討します。」
37	■道路整備 (町道)	意見交換会 第3回	P.21	JRの下をトンネルのようにできないのか。	JRの南北連絡通路を本計画に位置づけています。
38	■道路整備 (町道)	意見交換会 第3回	P.21	ロマンス通りは狭くて歩行者が危険な状況である。この道路を終日一方通行とするなどして、安全対策を検討してほしい。まずはロマンス通りから着手してほしい。	一方通行の規制を実施するには、交通管理者との協議や地域の方々のご理解が必要となりますので、今後検討します。
39	■道路整備 (町道)	文書	P.22	県道711号と町道3号線、5号線の2箇所の交差点について、小田急線の踏切に近接していることから、道路形状は共に直進・左折・右折の専用レーンを設けることが必須の条件だと思う。	県道711号と町道3号線の交差点に関しては町道側に右折レーン、左折レーンを設ける計画となっております。 県道から町道への右左折レーンの設置については、将来交通量や交通規制の状況により、検討することになります。
40	■道路整備 (町道)	文書	P.21	「駅前道路を12mとし、車線と歩道を備える」とのことですが、交通量の多い、幅広の道路があるとその両側の町並みは道路によって切り離され、一体感がなくなります。商店や飲食店の繁栄のためには、道の両側の連携があった方が良く考えます。ぶらぶらと歩ける街にすることが、近隣商業の発展に必要です。歩道を確保し、街としての一体感のためには、むしろ一方通行を厳密にして、かつスピードを出しにくい道路にする方が良いのではないのでしょうか。一方通行の動線をスムーズにすることを検討するのが必要である。	本計画では、町道3号線(ロマンス通り)等、駅周辺の道路について安心して買い物や散策ができるよう、歩道設置等の道路整備を検討しております。 なお、一方通行の規制を実施するには、交通管理者との協議や地域の方々のご理解が必要となりますので、今後の商店街の活性化を含めて検討します。

No.	項目	意見形態	該当ページ	意見内容	回答・対応
41	■道路整備 (町道)	文書	P.22	駅前の県道と町道のT字交差、JRのガード下の狭隘部のところの処理、バスがロマンス通りを往復して方向転換をしていることが、駅前の車の往來を複雑にしています。バスの操車場を移動してもらい、バスがロマンス通り中央の操車場で方向転換をする動線を改善し、ロマンス通りを終日一方通行にすることで、すっきりした歩く人が買い物を楽しめる環境作りは達成できるのではないのでしょうか。用地買収がより少なくて済むので、予算も減らすことが可能と考えます。	<p>本計画では、町道3号線(ロマンス通り)等、駅周辺の道路について安心して買い物や散策ができるよう、歩道設置等の道路整備を検討しております。</p> <p>なお、一方通行の規制を実施するには、交通管理者との協議や地域の方々のご理解が必要となりますので、今後の商店街の活性化を含めて検討します。</p> <p>踏切を廃止するためには、道路を地下化または高架化する方法、鉄道を地下化または高架化する方法があります。</p> <p>ただし、これらを実施するためには地形的な制約や莫大な費用を要するため、本計画においては踏切を廃止することについて記載しておりません。</p>
42	■道路整備 (踏切)	文書	—	立体駐車場の中で県道711号線の松田山方向と大井町方向に分岐させ、大井町方向では小田急線の上を跨線橋の形にしたらどうか。	
43	■道路整備 (踏切)	文書	—	この計画の中で、できれば新松田駅の踏切を廃止する。道路を地下化または高架化、小田急線を地下化してはどうか。 小田急線を地下化する例として、上病院付近から地下に入り、酒匂川の下を通り開成駅付近で地上に出る。 道路を地下化する例、石川肉屋付近から地下に入り、踏切を超えたさがみ信用金庫付近に地上に出る。 新松田駅ロータリーは地下化するなど考えられる。	
44	■道路整備 (踏切)	文書	—	JR御殿場線の矢倉沢踏切を廃止。道路を地下にして踏切渋滞を無くしてほしい。	
45	■道路整備 (踏切)	意見交換会 第2回	—	小田急線と県道の踏切についてはこの計画でどう取り扱うのか。	

No.	項目	意見形態	該当ページ	意見内容	回答・対応
46	■駅前広場	意見交換会 第1回	P.26	JR松田駅と新松田駅北口を直接連絡する通路の整備はできないのか。	JR松田駅と小田急新松田駅を直接繋ぐ連絡通路については、事業費等踏まえ検討するものであると考えております。
47	■駅前広場	文書	P.26	JR松田駅の改札と小田急線新松田駅の改札を連絡橋で接続。JRと小田急線の乗り換えは地上に降りずに行き来ができるようにする。	
48	■駅前広場	文書	P.26	立体横断施設はJRからの乗り換え客対応とも感じられるが、JRから一旦地平に降り、ホームにたどり着くまでの上下移動に改善効果は感じられない。	
49	■駅前広場	意見交換会 第1回	P.26	新松田駅北口に停車するバスを他の場所に持っていけないか。例えば南足柄方面行きのバスはJR松田駅北口の発着にすることも考えられると思うが。	小田原方面行きのバスについては、新松田駅南口の整備が完了した際に、バス発着場を北口から南口へ移設する計画としておりますが、今後詳細に検討します。
50	■駅前広場	意見交換会 第3回	P.26	バスの振り分け等で駅前の渋滞を緩和することが、住民の利便性向上、住民の税負担の軽減につながるのでは。	
51	■駅前広場	意見交換会 第3回	P.26	新松田駅北口駅前広場の交通の錯綜していることについて、バスを分散させる等優先して対策を進めてほしい。	
52	■駅前広場	意見交換会 第2回	-	新松田駅北口の広場は現在、町有地ではないと思われるが、前面の町道も同様か。現状、駅前広場に一般車は乗り入れていない。計画では都市計画決定を行うとされているが、駅前広場の土地は今後買収するのか。	ご意見のとおり駅前広場と町道の一部は町有地ではありません。 駅前広場の整備にあたり、用地買収など土地の取り扱いにつきましては、今後の協議事項となります。
53	■駅前広場	意見交換会 第2回	P.26	駅前広場計画案の西側の境界は現在のどの建物の位置になるのか。	本計画においては、横浜銀行の位置が、駅前広場計画案の西側の境となっています。

No.	項目	意見形態	該当ページ	意見内容	回答・対応
54	■駅前広場	文書	P.26	観光案内所設置場所について。 役場の職員の方の話で、JR松田駅前に建設構想されている集合施設内に「観光案内所」の設置が想定されているように感じた。利用者数、バスターミナルへのアクセスから考えて、小田急線新松田駅前の10-12階建の建物の駅から接合されている2階部分に設置するのが最も利用しやすく、観光客の視点からも便利ではなかと感じた。これからバスに乗るのに、わざわざ陸橋を渡って道の反対側に行くのは、不親切のように思う。	観光案内所の設置やバスの乗車位置など詳細については、事業実施にあたり、今後検討する内容と考えております。
55	■駅前広場	文書	P.26	松田町には公園がない。駅前に大きなものは出来な いかもしれないが、水が流れるとか、ちょっと腰かけら れる、ちょっとしたマルシェが開催できる。そんなス ペースが駅前にあるといいと思う。町民との協働で 作ってもいいと思う。ちょっと行きたくなる駅前にして ほしい。	駅前広場の検討にあたっては、環境空間(交流機 能、景観機能、サービス機能、防災機能など)を確保 しなければならないとされており、ご意見のようなス ペースも必要であると考えております。
56	■駅前広場	文書	P.23	現在の駅前広場付近は、県道711号線に隣接し又、 至近距離には小田急線の踏切があることからバス、 タクシー、一般車両の滞留が日常化している。 駅ターミナルは、自動車等の多くの往来を想定して踏 切や交差点からある程度離れた位置(松田小学校方 面寄り)に立地すべき。	駅前広場については周辺への影響等から現在の位 置を基本に検討しております。なお、駅前の駐停車の 車両の対策として、道路沿いに一般車の乗降場所を 設けることや、立体駐車場の整備を検討しておりま す。
57	■駅前広場	文書	P.5	南口駅前ロータリーの本計画は、当初の計画から大 幅に縮小されたようであるが、近隣地域全体の利便 性を考えればとても残念である。 なお、小田急変電所の移転を小田急に要請し、当該 地を時間貸有料駐車場等に活用すれば南口駅前の 活性化に繋がると思われる。	現在の整備イメージでは、小田急の変電所が移転し ているイメージですが、今後鉄道事業者との協議が 必要となるものです。
58	■駅前広場	文書	P.23	「駅前広場計画指針」1998年(H10年)にとりまとめら れていますが、算定式に基づく交通空間と環境空間 比率(50% P23)で機械的に求めた値は地区の特性 を考慮しているとは言えないと考えます。(P26平面計 画図) 地域特性や今後の社会変化に対応するためには、 「計画指針」に示された計算式等ではなく、指針の冒 頭に示されている基本理念を理解した上での計画の 考え方が重要である。	本計画の中で「駅前広場計画指針」(98年式)に従っ て、広場の計画面積を算定しております。 詳細設計においては、規模、施設の詳細について検 討します。

No.	項目	意見形態	該当ページ	意見内容	回答・対応
59	■駅前広場	文書	P.26	立体横断施設、自由通路は将来的検討の様だが、駅のバリフリ対応は済んでいる。南北自由通路の必要性はほとんどないと思う。	歩行者が踏切を通行することなく、駅の南北を安全に連絡する経路として、南北自由通路を計画しています。
60	■駅前広場	文書	P.26	【P26北口駅前広場平面計画図案】 既設建築物位置を除却してまで環境空間を整備する必要性は疑問。人の広場として場所が不適切である。	駅前広場のレイアウトなど詳細については、事業実施にあたり、今後検討することと考えております。
61	■駅前広場	文書	P.26	【P26北口駅前広場平面計画図案】 タクシー利用の最大の問題は雨天や終電時の待ち時間が問題。昼間時の待機スペースの必要性については各自自治体でも問題視されている。	
62	■駅前広場	文書	P.26	【P26北口駅前広場平面計画図案】 駅口とバス乗車の距離は増加している。荒天時の上屋(シェルター)も不十分である。	
63	■駅前広場	文書	P.26	重要なことは、24,000人の乗降客だけではなく、JRも含んだ30,000人の交通結節・もてなし空間・サービスの提供の方策であると考えます。バス・タクシーを中心にした車両空間を拡大・縁石で分断・独立させることは不適切で時代に逆行するもので町の特質を生かしているとは思えません。	
64	■集約施設	文書	P.28	できれば、新松田駅からJR松田駅及び町営駐車場部分に複合商業施設(8階建て)を造る方が有効と思います。 例として、施設の1階は駐車場、2～3階にスーパーやアパレル関係・飲食店、4階に町役場、5～7階にマンション、最上階の8階はレストラン等。	本計画において、集約施設(駅ビル)の導入機能として、居住機能、商業サービス機能、公共公益サービス機能、生活支援サービス機能などの多様な都市的サービス機能の導入を目指しています。それらの規模や位置については今後検討します。

No.	項目	意見形態	該当ページ	意見内容	回答・対応
65	■集約施設	意見交換会 第1回	P.42	市街地再開発事業(駅ビル)のスケール感が大きすぎないか。複合施設はマンションが多いが、周りへの波及効果がない。人が来る工夫や賑わいが生み出される施設について検討してほしい。	集約施設の規模や配置など詳細については、今後検討するものです。
66	■集約施設	意見交換会 第1回	P.42	デッキの影となる1階の店舗等の賑わいがなくなってしまうのでは。鉄道の利用者は便利になるかもしれないが、商店等地元はメリットがあまりないのでは。	また、商業の活性化について検討し、中心市街地の賑わいを目指します。
67	■集約施設	意見交換会 第3回	—	市街地再開発事業の説明で民間事業者の出資についての意味がわからない。	組合施行の市街地再開発事業は、民間のマンション建設事業者等により、集約施設の建設を実施するものです。
68	■集約施設	意見交換会 第3回	—	市街地再開発事業の組合員の構成員は誰になるのか。	地権者等の権利者の方々になります。
69	■集約施設	意見交換会 第3回	—	集約施設(駅ビル)を整備することで、まちの活性化が図られるのか。どのようにまちを活性化していくことを考えているのか。	集約施設の整備により、都市的サービス機能の導入を図り、また、人口増、商業施設の集約により、まちの賑わいが創出されるものと考えております。
70	■集約施設	意見交換会 第3回	P.42	町営住宅も空室があると聞いているが、イメージ図のような大規模なマンションを整備して入居するのか。	集約施設の規模や配置など詳細については、今後検討するものです。
71	■集約施設	意見交換会 第3回	—	集約施設になると木造からRC造になることにより固定資産税が増えたり、共益費等の管理費も余計にかかってしまうのではないかと。	集約施設整備後の管理費等については、集約施設の詳細が決まった後で検討するものですが、整備後の施設に関する家賃収入などは増えることが想定されます。

No.	項目	意見形態	該当ページ	意見内容	回答・対応
72	■集約施設	文書	—	<p>観光案内所、待合所、地元の産物の販売店の統合について。</p> <p>観光案内所と地続きの位置に、松田町周辺の農産物やクラフト(公募)が買える店、また、その隣に待合所を設置したらよいと思う。現在、別々に設置されている「町の駅」「コスモス館」「つむGO」を統合して、待合しながら買い物をしたり、観光情報を聞くついでに買い物できるような導線を設ければ、それぞれが活気づいてよいと思う。</p> <p>また、「寄茶」+「スイーツ(地元の果物を利用した)」を提供できるカフェを誘致すると、販売促進になり、無農薬で栽培されている希少な「寄茶」の知名度が上がり、若い就農希望者にもアピールが出来ると思う。観光客だけでなく、地元の方も利用しやすいレイアウトを考えてほしい。開店時間が異なる部分は、パーテーションを利用して部分的に閉められるようにして、壁面や床に、松田町の山の間伐材を使用すれば、とても魅力的なスペースになると思う。</p>	集約施設の規模や配置、導入する機能など、今後の検討の参考とさせていただきます。
73	■集約施設	文書	P.42	<p>構想において、土地の高度利用、土地利用の更新、集約施設の整備の提示があり、イメージ図が出ているが高層建築が予想される。</p> <p>空が広く保たれるには高層建築は難しい。他から訪れた人が駅から出た時、駅前の印象が特徴ある魅力的な様子が表されるとよい。</p> <p>新松田駅前の整備では3~4階までの高さ、あるいはテーマ性のある特徴的な建物に統一して1~2階にすることも考えられる。開成駅周辺の高層マンションのような様子は足柄平野にはそぐわない。</p>	集約施設の規模や配置など、今後の検討の参考とさせていただきます。
74	■集約施設	文書	P.32・P.36	<p>人口と売場面積の関係で考えると仮に100戸(200~2百数十人)の住宅を作っても、小売業売り場面積は200㎡程度しか増えないし、そもそも既存店での売上げ増こそ大切である。</p> <p>P32の100戸とP36の900人(360戸)等の関係が理解できません。P39の波及効果のリアリティが不明。無用な誤解を避けるため。イメージ図から建物、自由通路、橋上駅舎・ホーム上屋緑化等々は除き、対象事業のみ表記すべきだと考えます。</p>	<p>P32の発生集中交通量の推計に使用している「100戸」の記述とP36の「360戸」は誤りであったため、「380戸」に修正します。</p> <p>なお、イメージ図は基本構想・基本計画の重点事業の内容をわかりやすく示したものであり、今後詳細な検討により決定するものです。</p>

No.	項目	意見形態	該当ページ	意見内容	回答・対応
75	■ 駐車場	文書	P.26	見送り車専用スペースを作って欲しい。	送り車両については、短時間の駐車が多いと考えており、立体駐車場には入場しないことが予想されるので町道沿いの停車帯を設けております。迎えの車両については長時間の駐車が多いと想定されますので、立体駐車場の利用を促すことを今後検討します。
76	■ 駐車場	文書	P.23	車両の流量数をどう捉えているのか。バス、タクシー以外の一般車両は駅への送迎が大半だと思うので、一般車両の流れを考えると案にある5台分の待機エリアでは不十分でそこに入れない車両はそのまま現状のように路上駐車になるのではないかと思う。むしろ設けない方が良いと思う。一般車両は立体駐車場に強制的に引き込むようにしたらどうか。	
77	■ 駐車場	文書	P.23	「送る車と迎えの車を分離し、迎えは近接の駐車場に誘導する」とのことですが、迎えは夜、悪天候、移動が困難な方、他所からの訪問者への対応など様々な状況がありえますが、いずれも駅に近いところがあり、安全にかつ速やかに移動してもらうことが重要と考えます。それには送りのスペースに近接して十分なスペースを用意すべきだと思います。でないと送りのスペースに滞留するケースが頻発し、トラブルのもとになる恐れがあると思う。	
78	■ 駐車場	文書	—	駐車場の運営方法について。駅周辺の商店を利用するための駐車は料金がかからない仕組みを確立してほしい。(駐車券の発行などで1000円以上は2時間無料など)。現在は、コスモ館で地元のものを買いたいとしても、駐車場が有料なため、あおばで買い物してしまう。ともかく地元優先で、地元の人が地元のものを利用しやすいシステムを確立してほしい。地元経済が潤う事を優先してほしい。	本計画において、集約施設(駅ビル)に隣接して、立体駐車場の整備を検討しており、短時間の駐車については駐車料金を無料にするなどの制度を活用して利用を促す事も検討していきます。また、整備後の利用料金の仕組みなどについては周辺商店との連携も必要であると考えております。
79	■ 駐車場	文書	—	商業施設とする場合、上郡の海側に向かっては交通機関が無いため、駅から5分程度の範囲で500台の車が駐車できる駐車場が必要だと思います。	駅周辺の利用者のための駐車場の整備を本計画において検討しています。駐車台数など詳細については今後決定することとなります。
80	■ 鉄道	文書	—	現在、開成町に小田急線の急行が停車する状況の中、新松田駅への小田急の停車は現状のままで問題ないでしょうか。ロマンスカーの停車がなくなっています。よって、この計画は小田急電鉄に大きく左右されると思う。	本計画の検討にあたっては、鉄道事業者との協議も実施しております。

No.	項目	意見形態	該当ページ	意見内容	回答・対応
81	■鉄道	文書	—	町道6号線のJR御殿場線との踏切の運用の見直し。山北方面行きの電車が通過する際に踏切の待ち時間が大変長い。見直しをお願いしたい。	ご意見を鉄道事業者に伝えたところ、安全上必要な遮断時間を確保していると聞いております。
82	■計画見直し	文書	P.26	小田急線新松田駅前の限られた空間で、車の空間建設と無用な立体横断施設(いわば歩道橋)建設で町の課題を一気に解決できるとはとても考えられない。まずは、御殿場線松田駅等も含む相当程度の範囲を対象に顕在化していない資源を見出し造り替えるのではなく、残っている能力を十分に発揮させるような発想で、計画対象範囲、方策等の再検討を行うべきと考える。	多くの方々にご理解いただけるよう、今後も丁寧に説明させていただきます。
83	■計画見直し	意見交換会 第3回	—	今回の構想・計画を白紙にしてほしい。なんのための計画作成かを決めて取り組んでほしい。	
84	■計画見直し	文書	P.58～P.59	町有地、小田急所有地、バス等交通事業者所有地、その他があると考えますが、これらの土地所有者、管理者の意見はどのようになっているのか。詳細は不詳ですが、P58の権利者44名に対し、事業参加意向9名は20%と少なく、民間事業者意向49社中、現段階で興味ありとの回答3社は極端に低いものと思われる。これらの点からも再考をお願いしたいと考える。	交通事業者につきましては、協議会や部会などで本計画の説明をしております。また、その他駅周辺の土地所有者など権利者の方々とは意見交換会を実施しておりますが、今後も事業に関する勉強会などを行っていく予定です。
85	■その他	文書	—	この計画の中で、町外の人をどれだけ誘致することができるかを考える必要があると思う。	ご意見のとおり、公共交通機関の乗り換え目的だけでなく、町内の新たな居住者や駅周辺を目的とした来訪者などが訪れる地域となるように、計画を検討しています。
86	■その他	文書	—	商業施設とする場合、上郡の海側に向かった内陸部分に新松田駅を起点とするモノレール等を走らせれば松田町の活気が期待できると思う。	本計画においては、新松田駅からの公共交通の手段として現況のバス、タクシーを基本として、広場や道路の計画を検討しています。
87	■その他	文書	P.17	歴史的地域資源には、松田町の成り立ちに係わる根幹的歴史資源である「足柄古道=矢倉沢往還道=大山道」を加筆してほしい。	ご意見を踏まえ、新松田駅周辺地域基本構想の「環境・景観に配慮し地域資源を活かしたまちづくり」の内容に「矢倉沢往還」のことも含めて記載するよう修正しました。
88	■その他	文書	—	シャッターが下りた店の跡は更地にして欲しい。	ご意見の内容につきましては、土地所有者など権利者の意向によるものです。

No.	項目	意見形態	該当ページ	意見内容	回答・対応
89	■その他	文書	-	見送り車など夜間の駐車・無断駐車・夜間の徘徊などを見回りをして欲しい。ロマンス通りや仲町商店街における交通道德として、安全運転などを呼び掛けて欲しい。	交通管理者である警察と連携して対応する内容と考えております。
90	■その他	文書	-	既存の厄除け地蔵、道祖神、稲荷はどうなるのか。	ご意見につきましては、事業実施にあたり検討する内容と考えております。
91	■その他	文書	-	県道の御殿場線跨道橋内のベンチなどはどうなるのか。	
92	■その他	文書	-	ポイ捨てなどを行う方が多いため、環境に対する啓発や対策をして欲しい。	町の広報などにより、環境に対しての啓発を行うとともに必要に応じて注意喚起の看板の設置などを実施します。
93	■その他	意見交換会第2回	-	イメージ図のような事業内容について、小田急とはどの程度協議が進んでいるのか。	協議会に委員として参加していただいております。また基本構想・基本計画案の資料を提供しております。
94	■その他	意見交換会第2回	-	重点事業としてイメージ図のどこまで実施する予定か。	イメージ図全体の整備を目指しておりますが、まずは駅前広場の整備着手を目指しています。
95	■その他	意見交換会第2回	P.59	デベロッパーは今年度に決まると聞いていたが。	まだ決定しておりませんが、アンケートを基に今後聞き取り調査などを行う予定です。
96	■その他	意見交換会第2回	-	事業に関する勉強会・検討会の中で事業を実施した箇所の視察などを行うと説明されたが、同規模の事例はあるのか。	本厚木駅南口、小田急相模原駅、大雄山駅など事例はあります。
97	■その他	意見交換会第3回	P.58	事業の実現には関係者への説明が必要であり、自治会に出向いて説明するなど丁寧に意見を聞いてほしい。	何度か説明させていただいておりますが、今後も丁寧に説明させていただきます。

No.	項目	意見形態	該当ページ	意見内容	回答・対応
98	■その他	意見交換会 第3回	P.46～56	段階的に事業の内容など住民に説明をして、住民の話をよく聞いて進めてしてほしい。 また、駅の利用状況等、歩行者がどういった動きをするなどしっかり調べてほしい。	何度か説明させていただいておりますが、今後も丁寧に説明させていただきます。なお駅の利用状況、駅周辺の車両や歩行者の動線については、平成23年、平成28年に調査しております。
99	■その他	意見交換会 第3回	—	今回の案は議会は承知しているものか。整理した後で案を出され意見を言ったとしても、そのまま通ってしまう。今回の説明会は一方的である。	本計画については、議会に資料を配布し説明しています。なお、意見交換会は広くご意見をいただくために、パブリックコメントを行うと同時に開催しております。
100	■その他	文書	—	パブコメに返信されないのに、なぜ氏名、住所を記載するのか少し疑問に思った。 自治会長だと、影響力が強いのか？ 新規移住者だと、ごみ箱行きなのか？	パブリックコメントをにつきましましては、意見の責任の所在と内容確認の必要性から住所、氏名の記載を原則としております。 なお、意見募集の結果や対応については、町の公式サイトにより公表します。
101	■その他	文書	P.10	資料P.10の「JR松田駅の乗降客数3,300人/日」は6,600人/日の誤記では。	ご意見のとおり修正しました。
102	■その他	文書	P.46～56	駅利用の歩行者の数をどう捉えているのでしょうか。「通勤通学が多い」という分析になっていますが、もっと明細を分析した方が良いと思う。 特に立花学園、吉田島総合の高校生をいかに取り込むかが商業的な発展を左右すると思う。	駅の利用状況、駅周辺の車両や歩行者の動線については、平成23年、平成28年に調査しております。
103	■その他	文書	—	地権者等の意見交換は必要ないと思う。 駅周辺の関係者といえればそれなりの歴史をお持ちの方々であろうことが想像できる。故に大きな転換を図ろうにも昔からのしがらみ等が折角の発想を邪魔することを危惧する。すべて買収し「町主体」か「民間デベロッパーに委託」で進めたらどうかと思う。	この事業を進めるためには、地権者の方々のご協力が必要不可欠であるため、地権者の方々との意見交換会は今後も必要であると考えております。
104	■その他	文書	—	段階的な開発は中途半端になると思う。 実施に向けては膨大な予算が必要なことは想像に難しくないが、これまでの経過をみたと「今できるのはここまで」というように結局は中途半端になっているように思う。最終的なビジョンを示し、これに向けて進めるときは一気に進めるべきと思う。	現時点では、重点事業の整備スケジュールのとおり段階的に整備することが予算上、また駅利用者の安全確保の面からも望ましいと考えております。

No.	項目	意見形態	該当ページ	意見内容	回答・対応
105	■その他	文書	—	<p>全般的に「人や車の流れを安全にスムーズにする」ことだけしか見えず、商業面や住民増加といった町の発展は望めないと思う。</p> <p>駅周辺に居住する住民の車の流れが考えられていない。</p> <p>普段の食材や日用雑貨といった生活物資の買い物が考えられていない。</p> <p>この整備では「新たに松田に移住したいと思う人はいないのでは」と思う。</p>	<p>新松田駅周辺地域の将来像については、「足柄上地区の玄関口にふさわしい、賑わい・活力を生み出すまちづくり」としており、駅周辺の整備による歩行者や車両の安全確保の面だけではなく、町の賑わいや活力が創出されるような計画を今後も検討してまいります。</p>
106	■その他	文書	—	<p>この計画の最大の問題点は、町の税金を使って町外利用者のための電車と車の乗り換え空間を提供する計画である。重要なことは町民利用者の1.4倍ある町外利用客の消費エネルギーを吸収する方策(物販、飲食、サービス、文化)を優先すべきと考える。</p>	<p>ご指摘のとおり、町外の駅利用者の消費誘導など、今後の課題も多くあります。実施計画において、さらに詳しく分析し、検討してまいります。</p>